

薄型・軽量・7日間連続記録が可能な 単回使用ホルター心電計「Liz（リス）」を発売

フクダ電子株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長 白井 大治郎）は、2025年8月27日に製造販売承認された長時間心電用データレコーダの単回使用ホルター心電計 Liz（承認番号：307AGBZX00047000）を4月9日に発売しました。

本製品は、薄型・軽量のパッチ型で被検者（患者）の身体に直接貼付することで、日常生活下における心電図を長時間・連続的に記録することが可能な単回使用型ホルター心電計です。

●単回使用ホルター心電計 Liz の主な特徴

7日間記録・単回使用ホルター心電計

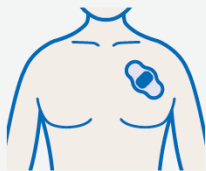
従来の弊社ホルター心電計では、電池交換や院内解析の負担がありました。本製品は単回使用とし、上記のほか被検者の本体返却のための来院が不要と、運用を簡便化。検査から結果確認までを効率化し、医療従事者と被検者双方の負担軽減を期待する医療現場のためのソリューションです。

検査から結果確認まで



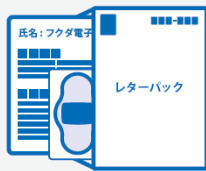
1. 検査開始

医療機関にて被検者へ本体を装着し、検査を開始のうえ検査登録します。



2. 本体返却

記録完了後、被検者が本体と行動記録用紙をレターパックに封入し、ポストへ投函します。



3. 結果確認

再生センターにて本体受領後、5営業日以内に結果を返却します。解析完了後はメールにて速やかに通知します。



CardiMax9Ai × Liz で心房細動早期発見

CardiMax9Ai に搭載された AI モデルで過去の発作性心房細動発症の可能性を推定し、Liz でのホルター検査へ繋げることで心房細動患者の早期発見に寄与することが期待できます。また、リユースタイプのホルター心電計 eMEMO も提供しており、院内で詳細な解析を行いたい場合や、検査後できるだけ早く結果を確認したい場合など、運用や目的に応じた選択を支援します。

診断フロー例

CardiMax9 Ai

CardiMax9Ai を使用しホルター心電図検査へスムーズに進むことで、発作性心房細動の早期発見が期待できます。

AI 解析

AI 心電図解析による心房細動リスクの推定

L	ML	MH	H
(Low)	(Middle-Low)	(Middle-High)	(High)
可能性が非常に低い	可能性が低い	可能性がある	可能性が高い

CardiMax9 Ai

心電図検査装置（解析付）
FCP-9900Aiシステム
医療機器承認番号：30600BZX00127000
販売名：コアメディアックス FCP-9900Aiシステム
管理医療機器 特定保守管理医療機器



長時間ホルターによる記録 & 解析

リスク推定のクラスがMHまたはHの場合はホルター心電計による長時間心電図検査に移行

Liz

LZ-J01

7日間記録



eMEMO

WR-50/100

最大7/14日間

医療機器承認番号：307ADBZX00071000 (WR-50)
医療機器承認番号：228ADBZX00113000 (WR-100)
販売名：ホルター記録機 eMEMO WR-50
ホルター記録機 eMEMO WR-100
管理医療機器 特定保守管理医療機器



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

フクダ電子株式会社営業本部 F・プロダクト Grp.心電営業部 TEL : 03-5684-1229 MAIL : info@fukuda.co.jp

